

メタロック S-2

メタロック S-2 はポリアミン加硫及び、ポリオール加硫のフッソゴムと金属との加硫接着剤です。メタロック S-2 は金属面に塗布後、焼付け（一次加硫と同程度、又はそれ以下）を行った方が良好な接着が得られます。

メタロック S-2 は、金属に対し防錆作用を有します。

メタロック S-2 の性状

外 観	微黄色の透明溶液	有効成分	11.7 ~ 12.7 %
比 重	0.81 ~ 0.85 (20℃)	不揮発分	5.5 ~ 6.5 %
主 溶 剤	メタノール	希釈溶剤	メタノールまたはエタノール
引 火 点	11.1 °C	入 り 目	1 L, 14kg
貯蔵安定期間	1 年		

接 着 方 法

1. 金属面の表面処理

金属面に付着している油、ホコリ、サビ等を完全に除去して下さい。良好な接着を得るためには、エメリークロス、ショットブラスト、サンドブラスト等により、新鮮で適当な粗さの面を出す、又は化学処理を行うといったことが大切です。

2. メタロック S-2 の塗布

ハケ塗りの場合は、希釈せずにこのまま御使用下さい。スプレー塗布の場合はメタノールで2倍程度に希釈して下さい。10~20分程度で乾燥します。メタロック S-2 の塗膜は、金属に対し防錆作用を有しますので、長時間放置しても害はありません。

3. 加硫接着

未加硫ゴムを貼付け、又は圧入成型し、加硫します。

4. 二次加硫

メタロック S-2 はフッソゴムの二次加硫に十分耐えますが、この場合の昇温速度に注意して下さい。片面金属接着したフッソゴムは、接着していないフッソゴムの二次加硫するときの昇温時間の2倍位かけて、ゆっくりと温度を上げる必要があります。両面金属接着したサンドイッチ上のフッソゴムは更にゆっくり温度を上げる必要があります。

取り扱い上の注意

1. 使用後の残った接着剤を元の容器に戻さないで下さい。
2. 接着剤を小分けするときは、ポリエチレンの容器を使用して下さい。金属の使用は不可。
3. 火気は遠ざけて下さい。
4. メタノールを含んでいますので、皮膚や目に接触することを防ぎ、蒸気を吸入しないようにして下さい。

株式会社 東洋化学研究所

〒662-0934 兵庫県西宮市西宮浜 1-5-1

TEL0798-33-6213 FAX0798-33-6473

2017.02.20 現在